

【2023 SyDE 産官学協働研修 実施報告】2023.10.16~2023.10.20

国立研究開発法人国立環境研究所の気候変動適応センター（CCCA）の気候変動適応戦略研究室において、2023年10月16日から20日までの5日間、産官学協働研修を実施しました。CCCAは、気候変動適応施策推進のために、気候変動影響や適応に関する情報基盤を整備し、地域の気候変動適応計画作成や適応施策に役立つ情報を提供しています。その活動の一環として、日本国内向けの気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）、及び、主にアジア・太平洋地域の気候変動適応を推進することを目的とした Asia-Pacific Climate Change Adaptation Information Platform (AP-PLAT)を運営しています。研修を行なった気候変動適応戦略研究室では A-PLAT の運営を行なっており、今回の研修においては A-PLAT に関連する業務の一部を担当しました。具体的には、A-PLAT に掲載予定の記事の修正や、新たな記事の構成の検討等の業務を行ないました。また10月18日には、東京大学伊藤謝恩ホールにて開催された気候変動国際シンポジウム「気候変動対策と未来ビジョンー適応・緩和研究の展望」に参加しました。

本研修を通して、気候変動に対する理解が以前より深まり、自身の研究に活用できる可能性のある気候変動関連のサイトやツールの情報を入手することができました。また自身の研究成果が自治体の担当者により即座に活用される環境で仕事ができる研究職の存在を知ることができたことは、自身の今後の進路を決定する上で非常に有益な体験となったと考えております。最後に、本研修で受け入れていただいた真砂佳史様、所内手続き等をしていただいた柴原利江子様をはじめとした国立環境研究所の皆様感謝申し上げます。

三浦耀平（工学研究科・土木工学専攻・D1）



国立環境研究所正門



受け入れ担当者の真砂佳史様と